

『やる気！元気！子ども探検隊』

～大人の「やらせたい」わかるけど、子どもの「やりたい」やってみ隊！～

北九州市立牧山市民センター【市民センター】職員 片山 恭子

館長 森山 秀文

牧山まちづくり協議会

会長 横田 健治

地域の概要

牧山地区は洞海湾を望み、八幡東区に隣接する細長い丘陵地帯です。

土地の起伏が激しい為、複雑に入り組んだ細い坂道が多く、古い住宅街が中心で、高層マンションなどが少ないので、住民の転入・転出もあまりなく、固定化が特徴の地域です。

国指定重要無形民俗文化財に指定されている戸畑祇園大山笠（提灯山）の季節になると、静かな牧山地区が、代々継承されている子ども山笠の賑わいで唯一、活気づきます。

人口 4,190 人、世帯数 2,053 世帯、小学校教育者数 278 人。（平成 27 年 5 月現在）

高齢化率が 33%と非常に高く、少子高齢化が深刻になっている地域です。

1 事業名 まちづくりステップアップ事業（子どもの健全育成に関する活動）

2 事業の目的

- ① 子どもリーダーを中心に子ども実行委員会を作り、子ども達自身に計画（やってみたい事、楽しいと思える事）・過程（どうすれば実現出来るか）・実行（本番の進行）を主体的に関わってもらおう事。
- ② 子ども達が頑張った事、努力した事、楽しかった事が、成長する過程は勿論、生きていくどこかの瞬間で小さな閃きや生きる力として身につく事。
- ③ 子ども達が異年齢のたくさんの仲間と一緒に「子どもの世界」の色々な関わり方を経験してもらおう事。
- ④ 子ども達が地域の方々からいっぱい声を掛けて貰えるような関係が築けるように、地域の関わりがもてる取り組みをする事。
- ⑤ 大人は、子どもを見守り支援する立場として関わっていく事。

3 事業の実施主体

牧山市民センター ・ 牧山まちづくり協議会

4 連携・協力機関・団体等

牧山小学校・若松海上保安部・NHK北九州放送局・牧山小学校スクールヘルパー
北九州市立かぐめよし少年自然の家

5 事業予算 105,000 円

6 実施に至る経緯

- ① 子どもの親世代は共稼ぎ世帯が増えて忙しく毎日を送っており、残念ながら近所付き合い、地域付き合いが希薄になっています。人口も児童数も年々減少しているのが現状です。一人ひとりが意識的に人との関わり・地域との関わりを持たないと、孤立化した殺伐とした地域になるのは目に見えています。子ども達が地域の人達と顔見知り

になる事で、より安全安心な地域になると思います。「子どもは地域の宝、地域で見守り育てる」という意識を改めて確認した事が、この事業を始めるきっかけになりました。

- ② 長年、日曜日の午前中、センター主導の子ども講座を開催してきましたが、考えを巡らして工夫をしても、なかなか参加人数が集まらず、苦慮していました。
- ③ たくさん子ども達や保護者に市民センターを知ってもらい、交流の輪が広がる事を期待しました。

7 プログラム作成の視点《子どもの世界を広げよう！水曜4時からの放課後づくり》 ～子どもへのメッセージ～

君のやりたい事、面白い事をどんどん聞かせてね！

～保護者へのメッセージ～

いつもの見慣れた物ばかりの世界からジャンプして、違う目線・視線・角度で見回したら違う世界が広がり、ぴかぴか笑う子どもの笑顔と出会えるかも！

- ① 学校の通学期間は、月1回、水曜日の放課後2時間に実施します。
(※水曜日は全学年、下校時間が3時予定です。)
長期休暇期間は、時間をたっぷり使った「非日常の子どもの世界」を展開します。
- ② 7月～翌年3月までの12回(当初10回予定)の通年講座として、年間登録メンバー30人を募り、継続的な取り組みを実施します。
- ③ 最初の3回の講座は、「ウェルカム企画」とし、市民センターがプレゼンターです。
残りの9回の講座は、(当初7回予定)は、子ども達のやる気・元気を引き出せるような「放課後づくり」を遊びの達人と子ども達が一緒に考えます。
- ④ 今年度は、牧山小学校のスクールヘルパーさんを中心に、牧山まちづくり協議会の協力で運営します。

8 事業の内容

《子ども探検隊プログラム》

ウ
ェ
ル
カ
ム
企
画
(
夏
休
み
)

- ① H27.7.28(火) 《子ども探検隊、どこへ行く！集合、遊びの達人来たる！》
子ども達と一緒に『放課後づくり』の内容をいろいろ考えます
講師 遊びの達人 NPO法人 KIDSWORK 代表理事 大久保 大助 氏
- ② 8.6(木) 《子ども探検隊、海上保安庁に潜入！巡視艇に乗ろう！》
- ③ 8.27(木)～29(土)《まきやま村にタイムスリップ！キャンプだ、ホイ！》
2泊3日 かぐめよし少年自然の家・牧山市民センター 各1泊
- ④ 9.16(水)《室内スポーツ(輪投げとペットボトルボーリング)と
防災クイズで雨の日を盛り上げよう！》
※『牧山の道探険！スタンプラリー』の予定でしたが、雨の為急きょ変更しました。
- ⑤ 10.21(水)《くるくるロールケーキでお・も・て・梨～》
- ⑥ 11.18(水)《ダンボールで巨大クリスマスツリーを作るぜ～》(本体作成)
- ⑦ 12.16(水)《ダンボールで巨大クリスマスツリーを作るぜ～》(飾りつけ)
- ⑧ 12.25(金) (冬休み)
《子どもの・子どもによる・子どもの為の・メリークリスマス会》
- ⑨ H28.1.20(水)

- 《牧山小学校の体育館でプレイ・プレイ・プレイ～ドッチビービーでいざ勝負！》
- ⑩ 2.17 (水) 《寒い日は人形劇で心があったか～いんだから～》
笑顔の宅急便 人形ボードヴィル・ドラ 公演
 - ⑪ 3.16 (水) 《牧山の道探険！スタンプラリー～地域を巻き込んでお宅拝見～》
 - ⑫ 3.30 (水) (予定) (春休み)

《非日常体験～茶道をたしなむ&NHK北九州放送局でテレビデビュー》

※6人×5グループでの活動体制

※10人によるリーダー会（実行委員会）を中心に活動を展開

9 事業の成果

- ① 子ども探検隊のメンバーが友達を連れて市民センターに日常的に来てくれるようになり、賑わいを感じられるようになりました。
- ② 放課後の実施のため、迎えに来られた保護者と子どもの様子についての話が出来て、子どもとのコミュニケーションを取りやすくなりました。又、地域の次世代を担う保護者と顔見知りになれた事は大きな成果でした。
- ③ 30人の子ども達が継続的に活動をする事により、じっくり子ども達と向き合う事が出来て、地域の方々との顔見知りの輪が広がりました。
- ④ 冬休みに実施した一大イベントのクリスマス会では、大きな成果がみられました。
- ④ 司会・進行・小道具係・幕引き・会場作り・おやつ作り等の役割分担を決め、打ち合わせ・準備作業を子ども達が主体的に関わりました。1時間の予定時間が2時間に伸びましたが、個々の役割をきちんと把握し、協力して進行する姿をみて、子ども達の可能性と見守る事の大切さを痛感しました。
- ⑤ 30人の子ども達の笑顔を毎回見る事が出来ました。
- ⑥ 「子どものやりたい事をやれているので、のびのびとした子どもの姿を見ることが出来て拍手を送りたいです」との声を頂けたのが、とても励みになりました。

10 今後の課題

- ① 子ども達の中のリーダーを育成
- ② 子どものやりたい事を支援する大人サポーターの教育支援
- ③ 地域青年サポーターの導入
- ④ 将来的な青年サポーターの育成

子どもの主体性を尊重した活動を実施したことで、子どもを理解する心の余裕を持つ事の大切さを学びました。

おわりに

子ども講座の新しい試みとして、『子ども探検隊』を結成しました。
見守る大人も主役の子ども達も反省点や課題が見えてきて、四苦八苦しながらも話し合いを重ねて活動を継続していくうちに、次に進む楽しさや期待の方が大きく膨らみました。「子どもの素敵」を育てる「大人の素敵」を持って、子ども達の笑顔と一緒に、私たち大人も成長していきたいと思いました。 『未来は、無限大です！』

11 問い合わせ先

〒804-0053 北九州市戸畑区牧山4丁目1-22

北九州市立牧山市民センター TEL・FAX 093-881-1041